

議会だより

2026
No. 59

令和8年
7月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌



高篠小学校



四条小学校



今回の定例会



長炭小学校



琴南小学校



満濃南小学校



仲南小学校

小学校運動会

新たな構成で、町議会始動!!

議長あいさつ	2
臨時会・3月定例会	4
委員会報告	16
9人が町の考えを問う 一般質問	19
まんのう町の春夏秋冬	24



7月バージョン
まんテンちゃん



まんのう町議会
ホームページ

住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/life/4/25/>

新たな構成で、町議会始動!!

議長あいさつ

まんのう町議会議長 大西 樹



議長

大西 樹

この度、令和8年第2回臨時会におきまして、第10代まんのう町議会議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であると共に、その重責に身の引き締まる思いであります。



副議長

常包 恵

「安心と活力を」と銘打ち、町民生活に寄り添い、町民の皆様が安心・安全を実感できる町政運営を進めてまいります。また、議会といたしましては、議員が自由闊達に品格ある議論を交わせる環境づくりにも努めてまいりたいと考えております。

今後とも、町民の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

令和8年5月



まんのう町議会

常任委員会構成



議会運営委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 三好 郁雄 |
| 副委員長 | 松下 一美 |
| 委員 | 松下一美 |
| 委員 | 常包 恵 |
| 委員 | 石崎 保彦 |
| 委員 | 橋田 明夫 |
| 委員 | 新開 洸太郎 |

教育民生常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 松下 一美 |
| 副委員長 | 真鍋 泰二郎 |
| 委員 | 川西 米希子 |
| 委員 | 京兼 愛子 |
| 委員 | 常包 恵 |
| 委員 | 橋田 明夫 |
| 委員 | 森 敬 |

総務建設常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 石崎 保彦 |
| 副委員長 | 合田 正夫 |
| 委員 | 白川 正樹 |
| 委員 | 三好 郁雄 |
| 委員 | 鈴木 崇容 |
| 委員 | 新開 洸太郎 |
| 委員 | 大西 樹 |

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 真鍋 泰二郎 |
| 副委員長 | 新開 洸太郎 |
| 委員 | 白川 正樹 |
| 委員 | 川西 米希子 |
| 委員 | 石崎 保彦 |
| 委員 | 森 敬 |

決意を胸に、議員一同 力を合わせてまいります

14名の議員をご紹介します。



議席番号5



石崎 保彦 議員 町議2期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 弓道
 ● 座右の銘「あらゆる事象は心の反映」

議席番号4



真鍋 泰二郎 議員 町議2期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 史跡巡り
 ● 座右の銘「慎みてな怒りそ」

議席番号3



橋田 明夫 議員 町議1期
 ● 所属 国民民主党
 ● 趣味 自転車
 ● 座右の銘「小さな積み重ねが大きな未来につながる」

議席番号2



森 敬 議員 町議1期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 ジョージ秋山(マンガ)
 ● 座右の銘「あんしん運転しよう」

議席番号1



新開 洸太郎 議員 町議1期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 バスケ・読書
 ● 座右の銘「大調和」

議席番号7



常包 恵 議員 町議3期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 スポーツ観戦・水泳
 ● 座右の銘「一人の力は微力、でも無力ではない」

議席番号14



大西 樹 議員 町議9期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 養蜂・きのこ栽培
 ● 座右の銘「雨だれ石を穿つ」

議席番号13



松下 一美 議員 町議9期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 旅行・読書
 ● 座右の銘「二期一会」

議席番号12



白川 正樹 議員 町議6期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 読書
 ● 座右の銘「我以外皆我師也」

議席番号11



三好 郁雄 議員 町議5期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 スポーツ
 ● 座右の銘「明日の笑顔」

議席番号10



合田 正夫 議員 町議5期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 カラオケ
 ● 座右の銘「日々努力」

議席番号9



川西 米希子 議員 町議5期
 ● 所属 公明党
 ● 趣味 野菜のポット栽培
 ● 座右の銘「金はやけば真金となる」

議席番号8



京兼 愛子 議員 町議3期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 舞踊・詩踊・カラオケ
 ● 座右の銘「清く正しく美しく」

議席番号6



鈴木 崇容 議員 町議3期
 ● 所属 無所属
 ● 趣味 読書・ゴルフ
 ● 座右の銘「意識は知識」

120億9100万円を可決

移行を見据えて!



まんのう町のお金、どう使う？

歳出:目的別経費



令和8年度 一般会計当初予算

“自立財政”への

チェック!

まちの未来を支える重点事業

予算額(概算)

学校教育の充実

学校給食の無償化



農林業の振興

地域を支える 集落営農加速化事業



活力創造と改革

企業誘致推進事業 (奨励金)



生活安全対策の充実

感震ブレーカー 設置補助金

30万円



コンセントタイプ

議会改革を実施

議会機能強化と透明性向上へ
令和8年4月からスタート!!

議案第1号 議員報酬を改定

第1回
臨時会
(1月)

提案理由(要約)

本改正は、まんのう町の特別職報酬等審議会の答申に基づくものである。

本町の町議会議員の報酬は、近隣自治体と比べ報酬水準が低く、合併以来引き上げ改定がおこなわれていない。さらに議員定数削減により議員一人当たりの責任が増すことなどを踏まえ改定が適当であると判断し提案する。

議長	月額 358,000円 (+ 3万円)
副議長	月額 319,000円 (+ 2万円)
議員	月額 304,000円 (+ 2万円)

※特別職報酬等の答申を受け、執行部より提出された令和8年5月より議員報酬を引き上げる条例の一部改正案を可決しました。

発委第1号 常任委員会を3委員会から2委員会に再編

3月
定例会

前	後
総務常任委員会 (6名)	総務建設常任委員会 (7名)
建設経済常任委員会 (5名)	(廃止)
教育民生常任委員会 (5名)	教育民生常任委員会 (7名)

※建設経済常任委員会の所管事項は総務建設常任委員会へ移管し、琴南支所および仲南支所の所管事務は、教育民生常任委員会に移管しました。

発議第1号 費用弁償(日額1,500円) → 廃止

※議員が本会議や委員会に出席した際に支給される費用弁償(日額1500円)を廃止しました。

発議第2号 政務活動費(年額上限15万円) → 新設

※政務活動費は各議員の申請に基づき、条例および規則で定める対象経費に対して交付されるもので、年間の上限額は15万円です。

※議員が実施する調査研究、研修、各種会議への参加等、町政の課題や町民の意志を把握し、町政に反映させる活動等に要する経費に対して交付されます。



政務活動費の主な使途

- 研修参加の際の交通費や受講料
- 資料・書籍の購入費
- 事務用品等の備品購入費
- 町政に関する広報誌の印刷費など

政務活動費の交付は、議会・議員活動に関するものに限られ、政党活動・選挙活動・後援会活動などは交付の対象外です。

発議第3号 政務活動費の運用規則を制定

※政務活動費の新設に伴い、政務活動費の交付申請、交付決定、請求および収支報告の提出、会計帳簿、証拠書類の整理・保管について必要な事項を定め、制度の適正かつ円滑な運用を図ることとしました。

住民のみなさまへ

議員報酬の引き上げに見合う成果を上げるため、住民のみなさまの声に真摯に向き合い、政務活動費も活用して調査研究と政策提言に努めます。また、活動内容を積極的に公開し、説明責任を果たしながら、より良いまちづくりに全力を尽くします。

令和8年

第1回臨時会

即決案件

〔議案第1号〕

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職報酬等審議会の答申を受け、執行部から提出された議員報酬を引き上げる条例改正案を可決した。(詳細は6ページ)



〔議案第2号〕

令和7年度町一般会計補正予算(案)(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億6741万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ136億4148万5千円とした。



仲南道の駅

◎仲南道の駅交流センターは、経営継続をするために1年毎に債務負担行為の変更を行う方針としている。令和6年度と令和7年度上半期の経営状況がほぼ同程度で、令和8年度も同程度の運営が見込まれることから、債務負担行為限度額に2260万円を増額し、総額6671万5千円とした。

◎国のバス運転手の処遇改善に伴う運賃見直しを受け、有限会社

琴空バス及び琴参バス株式会社と締結している運行管理業務の限度額を、それぞれ満濃中学校バス運行業務300万円、仲南小学校スクールバス運行管理業務200万円増額した。



◎物価高騰対策臨時地域応援商品券配布事業費は2億6741万円の増額で、国の物価高騰に対する交付金を受けて、全町民に1万5千円の地域応援商品券を配布するとした。



第2回臨時会

〔選挙〕

議長・副議長の選挙を行った。

◇議長

〔当〕 大西 樹 9票

白川 正樹 3票

川西 米希子 2票

◇副議長

〔当〕 常包 恵 9票

真鍋 泰二郎 5票



即決案件

【議案第1号】

専決処分承認

(町税条例の一部改正について)

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、町税条例の一部を改正したとの報告を受け承認した。一部改正による影響として、車の環境性能割の廃止(車両取得時に課される税が令和8年3月31日をもって廃止された)で440万円の減収見込みであるが、地方特例交付金にて補填される。



【議案第2号】

専決処分の承認

(町国民健康保険税条例の一部改正について)

地方税法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、町税条例の一部を改正したとの報告を受

令和8年

3月定例会

即決案件

【議案第3号】

工事請負契約の締結

(令和7年度繰越町(吉野地区)企業用地造成工事)

〈契約金額〉 金9790万円

(うち消費税890万円)

〈契約の相手方〉

青葉工業株式会社 善通寺支店
取締役支店長 富田 浩司



【議案第4号】

監査委員(議会選出監査委員)選任の同意

監査委員選任に同意した。

京兼 愛子



【議案第1号】

専決処分の承認

(令和7年度町一般会計補正予算(第4号))

衆議院議員総選挙に要する費用1541万5千円を追加した一般会計補正予算の専決処分を承認した。



【議案第5号】

工事請負変更契約の締結

(令和7年度町情報基盤更新事業(仲南サブセンター)機器更新工事)

令和7年度の情報基盤更新事業(仲南サブセンター)について工事請負変更契約を締結した。

〈変更契約金額〉

△153万8900円

〈既契約金額〉

1億2320万円

(内消費税1120万円)

令和8年

3月定例会

即決案件

【報告第1号】

専決処分の報告

(保育利用料金請求事件)

保育料滞納者に対し未払い保育料の支払いを求め、裁判所に督促の申し立てを行ったとの報告を受けた。

【報告第2号】

町新型インフルエンザ等対策行動計画の変更

平時の備えや感染症発生時の対応を定める町の行動計画について、新型コロナウイルス対応の教訓を踏まえた国・県の計画改定に合わせ、町も行動計画を全面的に変更したとの報告を受けた。



コンパクトになった発電設備(仲南サブセンター)

〔既契約の相手方〕

高松市西宝町

株式会社四電工 香川支店

常務執行役員支店長

秋月 伸夫
あきつき のぶお



【議案第18号】

副町長選任の同意

副町長選任に同意した。

○公文 長森 正志 氏(再)



【議案第19号】

町教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任命に同意した。

○中道 谷口 真司 氏(再)



【諮問第1号】

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員として推薦することについて適任と認めた。

○七箇 石川 泰史 氏(新)



【発委第1号】

町議会委員会条例の一部改正

・議会運営委員会提出

令和8年4月の町議会議員選挙後における議員定数削減に伴い、常任委員会を3委員会から2委員会へ再編するため条例の一部を改正した。(詳細は6ページ)



【発議第1号】

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員の費用弁償を廃止するため条例の一部を改正した。(詳細は6ページ)



【発議第2号】

町議会政務活動費の交付に関する条例の制定

政務活動費制度を新たに整備し、議会活動の透明性の向上と政策立案能力の向上を図り、町民の理解と信頼の確保に資するため条例を制定した。(詳細は6ページ)



【発議第3号】

町議会政務活動費の交付に関する規則の制定

制度の適正な運用を図るため規則を制定した。(詳細は6ページ)



付託案件

教育民生常任委員会

各常任委員会で所管する案件について執行部に必要な書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行なった。

【議案第3号】

町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

「いごも誰でも通園制度」の開始に伴い国の基準に基づく確認を町が行うため、事業の運営基準を定める条例を制定した。

主な質疑と答弁

▼運営基準を制定

委員 この条例の趣旨は。

執行部 令和8年4月から本格実施される「いごも誰でも通園制度」の適正な運営を確保するため

め、町が基準を定めて事業者の実施の適否を判断する根拠とするものである。

▼制度の利用対象児

委員 事業の対象となる子どもの年齢は。

執行部 0歳6か月から3歳未満である。

▼急病時の体制

委員 子どもが急病時の受診先は、提携もしくは契約した医療機関となるのか。

執行部 事前面接時に、子どものかかりつけ医を把握、記録し緊急時に備える。



【議案第4号】

町学校給食費徴収条例の一部改正

国・県の補助金を受けて、令和8年度から実施する小学校の給食費無償化と、地方単独事業として実施する中学校の給食費無償化に伴う必要な条例改正を行なった。

主な質疑と答弁

▼個別の事情に対応

委員 アレルギー等により給食が食べられない児童生徒への対応は。

執行部 アレルギー等の診断情報を記録した管理表に基づき、給食が食べられない児童生徒については、個別の事情に応じた補助要綱を整備し、該当する児童生徒の保護者への補助を検討している。

委員 不登校の児童生徒への対応は。



満濃中学校の給食風景

執行部 学校に在籍している場合は、補助対象である。



【議案第9号】

令和7年度町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第2号)

歳入歳出いずれも実績見込みに基づき減額を行い、直営診療施設勘定内科では実績精査等により減額を行なった。

主な質疑と答弁

▼医療用機器

委員 直営診療施設勘定内科の医療用機械器具修繕料と、医療用機器リース料の減額要因は。

執行部 修繕料については、該当する修繕がなかったため精査の上減額したものであり、リース料については、在宅酸素機器の使用人数減少が要因である。



【議案第10号】

令和7年度町後期高齢者医療
特別会計補正予算(案)(第2号)

負担金額の確定や決算見込みの
精査により歳入歳出ともに減額し
た。

主な質疑と答弁

▼負担金額確定に伴い減額

委員 後期高齢者医療広域連合
への負担金の減額要因は。

執行部 不足が生じないよう前年
度実績を基に予算計上し、金額確
定後に不用額を減額していること
が要因である。



【議案第11号】

令和7年度町介護保険特別
会計補正予算(案)(第3号)

歳出では、保険給付費や特定入
居者介護サービス費等を実績見込
みにより減額し、これに伴い歳入
も減額した。

主な質疑と答弁

▼実績確定に伴い減額

委員 特定入居者介護サービス
費負担金の減額要因は。

執行部 各サービスで増額に備え
余裕を持って予算計上しており、
実績確定に伴い減額したことが要
因である。



【議案第14号】

令和8年度町国民健康保険
特別会計予算(案)

歳入歳出予算総額を前年度比
1800万円、0.8%増の21億68
00万円としたほか、直営診療施
設歯科の歳入歳出総額を450
万円、直営診療施設内科の歳入
歳出総額を7060万円とした。

主な質疑と答弁

▼保険区分間の移動が影響

委員 直営診療施設内科の外来

診療収入において国民健康保険、社
会保険、後期高齢者医療制度それ
ぞれの前年度比増減は、各保険区
分間の移動によるものか。

執行部 概ねそうである。



内科診療所(造田)



【議案第15号】

令和8年度町後期高齢者医療
特別会計予算(案)

歳入歳出総額を前年度比547
0万円、14.7%増の4億2670円
とした。

主な質疑と答弁

▼後期高齢者人口の増加

委員 前年度比14.7%増の計
上となっているが、今後も同様の
傾向が続くのか。

執行部 生産年齢人口から65歳以
上への移行が進み、後期高齢者人
口の増加が見込まれることから、
必要予算額も増加傾向が続くと予
想される。



【議案第16号】

令和8年度町介護保険特別
会計予算(案)

歳入歳出総額を前年度比244
0万円、0.9%増の26億9640万
円とした。

主な質疑と答弁

▼欠員補充で体制確保

委員 地域支援事業費におけ
る任意事業の内容と減額要因は。

執行部 成年後見制度や虐待関連
事業に係る社会福祉士の人件費で
あり、昨年度は2名分計上してい
たが、令和8年度は1名減となる
ことが減額の要因である。



仲間と一緒にナイスショット！

委員 1名減によるサービス低下の懸念はないのか。

執行部 新年度には1名の補充を予定している。

▼健康寿命が延伸

委員 現在は各事業費が減少傾向にあるが、その要因は。

執行部 住民の健康意識が介護サービス利用から各種予防サービスへ移行し、健康寿命が伸びていることが要因と考えられる。



建設経済常任委員会

【議案第12号】

令和7年度町下水道事業会計補正予算(案)(第2号)

収益的支出は、営業費用を912万3千円減額し、総額1億8433万7千円とした。内訳は、管渠費134万2千円、処理場費196万1千円、総係費582万の減額。また、資本的収入は1440万円減額し、総額1億909万円とした。

主な質疑と答弁

▼負担金

委員 今年度の負担金は減少しているが、来年度以降の見通しはどうか。

執行部

今後は人口減少などにより負担金は減額傾向が見込まれる一方、処理場の修繕費なども想定されるため、負担金の増減を明確に推察することは難しい。

委員 維持修繕の長期計画があれば、負担金の見通しも立てられるのではないかと。

執行部 突発的な修繕の可能性もあり、計画的修繕のみで負担金の見通しを立てることは難しい。



【議案第17号】

令和8年度町下水道事業会計予算(案)

収益的収支では、収入総額を1億8439万5千円、支出総額を1億8542万3千円とし、営業費用や、営業外費用などを予算化した。資本的収支では、収入総額を1億1340万円、支出総額を1億3562万5千円とし建設改良費、流域下水道建設負担金、企業債償還金などを予算化した。



総務常任委員会

【議案第2号】

町長期継続契約を締結することができるとの契約に関する条例の一部改正

新たに自動車の保守管理業務契約および広報紙その他定期刊行物の作成、印刷または配布に関する請負契約を追加する。

主な質疑と答弁

▼債務負担行為との使い分け

委員 議会への報告がない長期継続契約はできるだけ限定的にすべきだが、債務負担行為との使い分けはどうか。

執行部

他の自治体では要綱運用の例もあるが、本町では限定的な運用とするため条例で定めている。近年は、年度をまたぐ事業は債務負担行為ではなく長期継続契約とする考え方が広がっている。広報

誌は毎月のページ数で費用が変動するため、年間上限額を固定する債務負担行為より、長期継続契約が適していると考ええる。



〔議案第6号〕

塩入辺地に係る総合整備計画の変更

令和6年度から10年度までの5カ年の総合整備計画に、林道小弥谷左岸線道路舗装事業を新たに加えた。



〔議案第7号〕

美合辺地に係る総合整備計画の変更

令和6年度から10年度までの5カ年の総合整備計画に、林道花びら線舗装及び改良事業、谷田橋修繕事業、島ヶ峰地区整備事業を新たに加えた。

主な質疑と答弁

▼計画の偏り

委員 辺地債は、教育や福祉など多方面に活用できるが、整備計画が道路関係に偏っている。各課へのどのように周知しているのか。

執行部 各課への周知は行っているが、事業財源や本町における辺地債の発行上限枠があるため、結果として道路関係に偏っている。



修繕予定の谷田橋

〔議案第8号〕

令和7年度町一般会計補正予算(案)(第5号)

歳入歳出それぞれ3億5523万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を133億166万3千円とする。

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の質疑を行い、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生委員会関係》

▼森のコンサート

委員 事業費減額の要因は何か。

執行部 昨年度は2部構成で開催し、今年度も同等の予算を計上していたが、1部構成で開催したため減額となった。

《建設経済委員会関係》

▼商品券コールセンター

委員 物価高騰対策臨時地域応援商品券配布事業における、コールセンターの運営体制はどうなっているのか。

執行部 3月1日から5月末まで、2名体制で開設し、約130万円を予算計上している。

《総務委員会関係》

▼消防ポンプ車の納車時期

委員 令和8年度に繰越となった仲多度南部消防と、町消防団第8分団の消防ポンプ車の納入時期はいつか。

執行部 仲多度南部消防は夏ごろ、第8分団は年内に納車予定である。



〔議案第13号〕

令和8年度町一般会計予算
(案)

歳入歳出予算の総額を120億9100万円とする。

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の質疑を行い、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

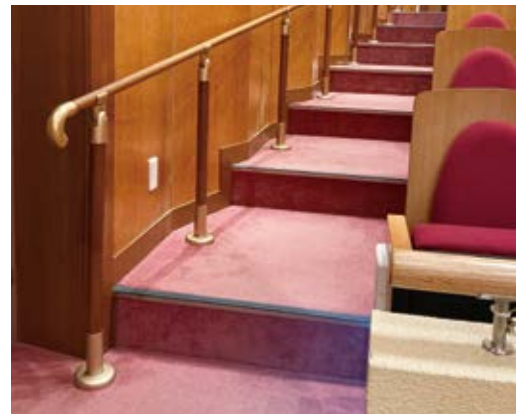
主な質疑と答弁

《教育民生委員会関係》

▼町民文化ホール

委員 新たな手すりの設置場所はどこか。

執行部 ホール後方の両サイド入口の階段には手すりがあるが、前方席の両サイド階段には手すりがないため、特に高齢者の歩行における危険性を考慮し、手すりを設置するものである。



新設された手すり

▼勤労青少年ホーム

委員 勤労青少年ホームのホール大屋根改修工事費及び実施設計管理業務委託料約3900万円について、屋根鋼材の音鳴りなどは確認しているものの、多額の予算を伴うことから、工事の緊急性や必要性、危険性を改めて十分調査・検討すべきではないか。

執行部 平成5年の竣工以来、屋根改修を実施しておらず、屋根鋼材の音鳴りなどが発生しているため、改修工事を予定しているが、申入れを踏まえ、所管課において改めて調査・検討を行う。

《建設経済委員会関係》

▼多面的機能支払交付金

委員 申請や実績報告書等の事務処理が懸念事項である。作成資料が多く煩雑であり、今後、各組織の会員の高齢化により、さらに作成が難しくなることが予想されるため、事業が継続できるように支援策などの研究をしてほしい。

執行部 書類作成などの事務処理の大変さは承知しており、土地改良区への業務委託といった支援策も実施している。引き続き、情報収集に努めながら研究を進めたい。



地域で支える農村環境

《総務委員会関係》

▼財政調整基金

委員 財政調整基金を2年連続で10億円余り取り崩す予定で、令和8年度末の残高が10億7千万になる見込みが示されているが、今後の財政運営と見通しはどう。

執行部 当初予算では約10億円を取り崩すが、決算時の残額や剰余金を積み増すことになる。今回の3月補正でも、財政調整基金に2億2千万円、減債基金に2億1千万円を積み増せる状況であり、土地開発基金の積立等も含め、現時点の財政調整基金の残高は約30億円となっている。現在作成中の中期財政計画は、来年度中に提示したい。

▼予算編成

委員 すでに予算計上している案件(勤労青少年ホームのホール大屋改修工事)について、再調査をするということはどのようにするのか。本来、事業の緊急性や必要性を十分精査したうえで予算編

成を行うべきであり、昨年の島ヶ峰地区整備工事の取扱い経過も踏まえ、慎重かつ適切な対応を求めらる。

執行部 所管課において改めて調査・検討し、議会にも説明したうえで、今後の対応を決定する。

▼消防の広域化

委員 消防の広域化に向けて、丸亀市など2市1町との消防指令台の共同運用や、メーカーを同地域と合わせてNEC製にする方向と聞いていたが、どのようになったのか。

執行部 指令台をNEC製に変更するには5億円以上必要との見積書が提出されたうえ、仮に広域化した場合、南部消防に設置している指令台自体が不要になることが判明した。また、現在のメーカーから大幅な値引き提案もあったため、琴平町、まんのう町、南部消防で協議の結果、費用対効果を考慮して現行の富士通製に決定した。なお、南部消防の広域化につ



南部消防の指令室

いては、中讃広域管理者会において正式に協議していくことになっている。



表彰
全国町村議会議長会より

引き続き頑張ってください。



白川 正樹 議員

合田 正夫 議員

教育民生常任委員会 報告

●国民健康保険

医療費負担が 減った理由は

【委員】 国民健康保険の療養費・高額療養費の保険者負担が、前年より減少している要因は何か。

【福祉保険課長】主な要因は、75歳以上の後期高齢者医療制度への移行や国民健康保険の対象となる15歳から74歳の生産年齢人口層における人口減少や人口動態の変化によるものと考ええる。

●介護予防

今後も充実した 取り組みを

【委員】 介護予防の各事業については、担当人員などの事情から、今後縮小する可能性はないのか。

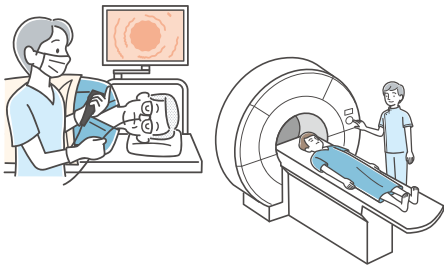
【福祉保険課長】ボランティアなどの協力を得ながら運営体制の充実を図り、事業の縮小ではなく、充実に努めていきたい。

●人間ドック・特定健康診査

健診受診率向上へ 成果上がる

【委員】 本町の人間ドックの受診状況は。

【健康増進課長】人間ドックの受信状況は良好で県内でも優れた実績となっている。特定健康診査の令和6年度受診率は約57%で、県内でも高い水準である。がん検診は、おおむね20%、乳がん検診は県平均22%に対し本町は33%で、各種がん検診において県平均を上回っている。



●自殺予防講演会

多くの参加者で 関心高まる

【委員】 自殺予防講演会を開催し、多くの参加者があったが周知方法や参加者層は。

【健康増進課長】参加者は限定していないが、本人や家族、友人に悩みを抱える方の参加が多かったと推測される。周知は、町広報誌やホームページ、各支所などへのチラシ設置の他、香川大学のホームページにも掲載した。

●骨粗しょう症検診

骨折予防へ継続実施を

【委員】 今年度初めて実施した骨粗しょう症検診や骨コックス教室は、高齢者の骨折予防や将来的な医療・介護費用の削減につながると考えるが、今後の方針は。

【健康増進課長】今年度は総合健診協会へ委託し検診バスによる集団検診を実施した。令和8年度以降も継続し、骨折予防に努めたい。

●森のコンサート

アンケートを 次年度に反映させる

【委員】 今年度開催した「森のコンサート」の評価は。

【生涯学習課長】現在、入場者アンケートを精査中で

ある。昨年の反省を踏まえ、今年度は二部構成から90分の一部構成に変更し、おおむね好評であったと認識している。アンケート結果を令和8年度の開催内容に生かしたい。



心に響くハーモニー

建設経済常任委員会 報告

● 地籍調査

■ 予算不足

【委員】農地の売買において、農地機構の予算不足により希望時期に売買ができない場合の対応は。

【農林課長】過去にも予算が不足した事例があり、そういった事象が起きないよう要望を行ってきた。今後も引き続き要望する。

● ため池

■ 渇水対策

【委員】記録的な少雨で、ため池の貯水率が低い状況にあるが、作付けに支障が出ないよう対策は考えているのか。

【建設土地改良課長】自然相手のことなので降雨を待つしかないが、地元の水利関係者に作付け時期の調整や水の確保などをお願いしており、町としてできる限りの対策は講じたい。

● 飲料水

■ 貯水状況

【委員】水道の貯水池の水位も低く、生活用水への影響も見込まれるが、水道企業団との連携はどのようになっているのか。

【総務課長】水不足となった場合、水道企業団は、まんの町の状況だけでなく、県下全体の状況を見て対策本部の設置などを行うことになる。本町では現在、町対策本部を設置し、水道企業団とも連携をとり今後に対応している。

● ことなみ未来館

■ 来場者数

【委員】ことなみ未来館の利用者数の減少をどう考えているのか。

【地域振興課長】全体的に利用者は減少しているが、今後イベントを予定しており、多くの利用者を見込んでいる。



人と人がつながる交流の場

● 地域応援商品券

■ 土日も発送

【委員】まんのう町地域応援商品券の送付方法はどのようか。

【地域振興課長】各個人宛にゆうパックでの送付を予定しており、土日のお届けも可能である。また、不在時の場合は再配達も可能であり、不明な点は商品券専用のコールセンターにお問い合わせいただきたい。



総務常任委員会 報告

●期日前投票所

一 周知の工夫を

【委員】 琴南地区で期日前投票所を2ヶ所開設したが、住民への周知が十分でなかった。衆議院解散から公示までの期間が短く、投票所の入場券の送付が遅れたことも一因と思われるが、改めて周知の工夫を求めると共に開設期間の延長についても要望する。

【総務課長】 利用者が増えるよう研究、検討を重ねる。

●投票状況の分析

一 分析から見える課題

【委員】 年代別の投票状況を見ると、80歳以上の投票率が低いため、令和4年に行政視察をした島根県浜田市の移動期日前投票車など、投票所までの移動手段の確保が課題である。また、時間別の投票状況では、昼間の投票者は多いものの夜間は少なく、投票者ゼロの時間帯もあることから投票時間の短縮を検討してはどうか。



期日前投票所(琴南地区)

【総務課長】 年齢別投票状況から移動手段の確保を検討すべき課題と認識している。また、投票時間についても、午後7時以降は投票者がゼロとなる投票所も多いため、他市町の動向や時間短縮の影響を考慮し、投票時間の見直しも検討事項としている。今春の町長・町議選には間に合わないが、県知事選での試行導入を含め、今後、選挙管理委員会での議論・研究していきたい。

●音声告知放送端末 (V-ONU)

一 交換の進捗状況

【委員】 交換の進捗状況と、今後の進め方どうなっているのか。

【企画政策課長】 全部で約7000台の交換を予定している。昨年10月から開始しており、テレビ、電話、インターネットの、すべてを契約している方から優先的に交換を進めている。



新型V-ONU

●議会での答弁

一 各課で共有を

【委員】 各種の審議会の議事録公開について「公開する」との議会答弁があったにも関わらず、企画政策課以外はホームページ等での発信が見当たらない。議会答弁での質疑内容を起案した課だけでなく、庁内全体で共有してほしい。【企画政策課長】 課長会議で再確認し全体化する。

●仲南地区

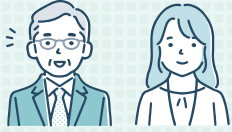
一 盛り上げる取り組み

【委員】 琴南地区の「ことなみ未来会議」のような団体の立ち上げも含め、仲南地区を盛り上げるための取り組みを検討してはどうか。

【仲南支所長】 各自治会などとも協議し、検討していく。

議員が町の考えを問う!

町議会
ホームページ



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。



鈴木 崇容	○住民と共に進める防災改革	19p
竹林 昌秀	○町長の地域振興観を問う。地域振興とは何を指して、どのような施策を展開するのか。地勢、産業、生活事情に沿って、旧村地域ごとの手立てが要るのではないか。条件不利地域振興諸法の駆使を求める。 ○直近の学校給食の動向を問う。 ○塩入温泉の民営化の展開手法とその展望を問う。	20p
川西 米希子	○災害時における避難所開設体制と施設活用	20p
京兼 愛子	○まんのう町を元気まんまんにする呼びかけ	21p
石崎 保彦	○持続可能で夢の持てるまんのう町の将来ビジョン	21p
常包 恵	○農業用水の消防水利活用 ○仲善グリーンセンター廃止後のゴミ収集	22p
真鍋 泰二郎	○地籍調査と災害復旧 ○ハイキングコースの整備	22p
白川 正樹	○綾子踊を伝承する会館建設の考えはあるか。	23p
川原 茂行	○農林業の振興	23p

一般質問の記事原稿は、質問した議員の責任において執筆しています。



すずき たかひろ
鈴木 崇容
議員

住民の安心と
安全を下げない

問

災害時の 現実的対応策と計画は

答

実効性のある災害、防災対策を行う

防災

鈴木 本町として今後、防災改革を進める中で新たな制度設計として、感震ブレイカーの設置促進補助事業の強化と高齢化社会が進む中で、災害時に避難できない高齢者などのようにして守り、早急な対応策と強化を考えているのか。

町長 令和8年度から地震発生時の電気火災を防ぐため、感震ブレイカーの設置補助事業の実施を予定している。購入設置に要した費用の3分の2以内、1万円を限度とし



て補助する。また、高齢者や障がい者などの避難行動要支援者の避難に関しては、避難基準をまとめて、きめ細やかな具体的な内容、計画を策定する。

地域振興

問

何をを目指すのか

答

活性化して、存続させる



たけばやし まさひで
竹林 昌秀
議員

町はインフラ整備で、
民間活力を引き出そう

竹林 どのような施策を展開するのか。

町長 経済、人口、生活基盤やコミュニティの強化する取り組みを行う。担い手の育成が問題である。

竹林 旧村地域ごとの手立てが要るのではないのか。

町長 検証していく。
竹林 美合と造田は、高松への通勤圏になれそう

町長 お試し移住とか、定住促進していく。交流人口も道の駅や大川キャンプ場が増やしたい。

竹林 仲南は、南北で別の構想が要るのではないのか。



見てよし食べてよしのひまわり

町長 北では企業誘致して、雇用促進を図る。南ではひまわりなど、特産品の開発をおこなう。

竹林 長炭、吉野、神野、四条、高篠をどうするのか。

町長 満濃は通勤圏だから、宅地化を進める。住宅立地の条件は、全町同じ基準にする。

国営公園と県森林公園とコラボした観光事業を実施していく。

商業サービスの集積は民間の判断であるが、町はインフラ整備を進める。

防災対策強化

問

避難所に電子鍵の導入を

答

前向きに検討



かわにし まきこ
川西 米希子
議員

時代に合う備えを

川西 災害時は、迅速な避難所開設体制と既存施設の有効活用が重要である。

施設の鍵管理者が不在の場合や町職員が鍵を持ち出せない場合、避難所開設に遅れが生じる可能性についての認識は。

町長 地震など急に発生する災害の場合は、開設が遅れる可能性は認識している。

川西 特定の個人に開設を依存しない体制として、自治会長や自主防災組織など複数で関わる仕組みづくりについてのお考えは。

町長 今後、鍵管理委託について、施設周辺の自治会役員や自主防災組織の代表者の方などと協議を行う予定としている。

川西 避難所にスマートロック(電子鍵)の導入をしてはどうか。平時においても利用者の利便性向上につながると思う。

町長 避難所の迅速な開設と平時においても施設利用者の利便性向上の両面で大変有効な手段である。先進事例を調査研究しモデル施設での試行導入など段階的な取り組みの検討を前向きに進めていきたい。

川西 琴南地区の未来館(旧中学校)は地域活動の拠点として、日常的に利用されている。

施設機能を踏まえ災害時の活用や避難所指定についてどう考えているか。

町長 避難所指定の体育館を使用する場合は、一体的な施設である未来館の駐車場、運動場、厨房施設やトイレ等を有効に活用することは当然必要であると考えている。避難者の負担が軽くなるよう災害時の未来館の活用について検討していきたい。

笑顔のまちづくり



きょうかね あいこ
京兼 愛子
議員

笑顔のまちづくりを



問

元気まんまんにする
呼びかけを

答

全職員で共有し、実践する

京兼 本町は平成18年3月3町合併による誕生以降二元気まんまん〜水と緑がひとを育み支え合う「まち」の実現を目指して、住民一人ひとりがまちづくりに取り組んできたが、合併して20年の間に、著しく社会が変化し、人口減少が進み、住民のくらしを守る事が苦しい時代になっている。そこで、行政から窓口対応や電話対応の時に明るくはつきりと元気まんまんに「まんのう町〇〇課です」と呼びかけ運動をし、笑顔のまちづくりに取り組んでいくことを提案する。

町長 本町もまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけ、町を元気にするための施策を選択と集中により、優先順位を明確にして、職員一丸となつて取り組んでいる。

しかしながら、窓口対応における挨拶や明るい対応についてはまだまだ、改善の余地があるものと認識している。

職員一人ひとりが、元気まんまんの気持ちで業務に取り組む、その姿勢を住民の皆様にも、届けることでまんのう町全体を元気にしたい。

まんのう町の将来



いしがき やすひこ
石崎 保彦
議員

住民・行政・議会の三位一体

問

持続可能で夢の持てる
我が町の将来ビジョン

答

住民・議員・職員が一丸となつて、知恵を出し力を合わせる

石崎 3町合併から20年の時が流れ、合併特例債を活用した有利な町政運営も終了した。まんのう町は今、新しい時代への入り口に立っている。これからの4年間で町長は、まんのう町をどのような町にしていきたいのか？町長の思い描くまんのう町の将来を問う。

町長 5点ある。1つ目は、住民一人一人が役割を持ち、地域がつながり、助け合いながら地域を創っていく「地域共生社会の実現」2つ目は、心の豊かな人材を育て、全ての人々が輝く町を目標に、子育て支援や教育の充実による「人の創生」3つ目は、新規就農者の発掘、農業の担い手の育成と確保に努め「持続可能な農業を目指す新たな制度構築」と「農業・林業・商工・観光」を連携させた地域経済の活性化。4つ目は、観光振興による新しい人の流れを創出し「来訪者・交流人口の拡大と地域の魅力発信」による経済の発展。5つ目は、児童生徒たちが、ふる里に関心と愛着を持ち、歴史に触れ、課題を見つけ、「将来の町づくりの担い手づくり」を行う。以上の5点に取り組む。

石崎 5つの実現のために町長が最も重要と考える具体的な一手は何か。

町長 最も重要と考える具体的な一手は「人づくり」である。子どもたちの育成、若者の定住促進、地域を支える人材の育成に取り組む。

消防水源

問

ため池、農業用水管路を
消火活動に活用を



つねかね めぐみ
常包 恵
議員

渇水期にため池に
水があると安心

答

消防水利として指定できるか協議する

常包 全国各地で大規模林野火災が発生し、町内でも建物、林野火災が相次いだ。一方で30年に一度の少雨、からつからの状態だった。消火栓、防火水槽などの整備とともに、ため池や農業用水をもっと活用できないか。冬場の池干しも消防水源確保のために、町が調整できないか。パイプラインの農業用水路に消火栓を設置することはできないか。

町長 取水施設の整備や水利権の調整が必要で、消防水利として指定することが可能かどうか南部消防と協議を進める。

常包 仲善クリーンセンターは令和9年度で閉鎖し、クリントピア丸龜に統合すると聞く。可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの収集・処理、個人で持ち込む場合や、イノシシなどの有害鳥獣の処理はどうなるか。

町長 令和10年3月から一本化となる。可燃に加え不燃・粗大ごみも住民自ら持ち込むことができるが、住民サービス低下を軽減できるよう検討している。有害鳥獣については、民間処理施設とも協議中である。

ごみ処理

問

仲善クリーンセンター
廃止後のゴミ処理は

答

中讃広域管内は
クリントピア丸龜に一本化

地籍調査と災害復旧

問

地籍調査の成果を
どう活用するのか



まなべ たいじろう
真鍋 泰二郎
議員

地籍調査は
災害復旧のかなめ

答

災害時の迅速な復旧作業に活かす

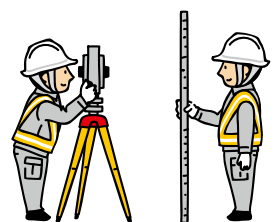
真鍋 地籍調査の成果は、公共インフラの迅速な復旧にどう活かされるのか。また、大規模災害時に町全体の復旧・復興を円滑に進める上で、どのような効果が期待され、今後どのように活用していくのか。

町長 近年、地震や豪雨など自然災害が多発する中、地籍調査は災害復旧・復興に重要な役割を果たす。調査済み地域では、土地境界を座標値で管理しているため、道路や公共施設、住宅再建時にも迅速かつ正確に境界を復元できる。一方、未実施地域

では境界確認に時間を要し、復旧の遅れや隣地トラブルの発生も懸念される。本町では南海トラフ地震など将来の大規模災害に備え、地籍調査を計画的に進め、災害対応や土地管理、固定資産管理などへの活用を図っていく。

真鍋 地籍調査の成果、今後の活用方針を問う。

町長 地籍調査の成果を、災害復旧だけでなく、土地売買や宅地造成、農地転用、固定資産の適正化、公共物の管理など、幅広い分野で活用していく方針である。



綾子踊会館

問

伝承会館の建設を



しらかわ まさき
白川 正樹
議員

保存会の負担を軽く

答

国や県の補助金や交付金を精査して検討する

白川 装具、衣装は佐文公民館の2部屋に収納している。
2022年にユネスコ無形文化遺産に登録されたから、多くの団体から、綾子踊を見たいので披露してほしいと依頼がある。フルバージョンだと2時間ほどかかるが、短縮バージョンで披露するにしても綾子踊とはどういうものかと解っていただけのように構成している。出張公演の度に積み下ろしに苦労している。装具、衣装が一ヶ所で、しかも車両に積みやすい建物があれば保存会役員の負担も軽くなる。綾子踊保存会としては、1976年に国指定重要無形民俗文化財になり伝承しなければならぬと考えるようになり、そし



綾子舞会館(新潟県) ※柏崎市HPより

て2022年にはユネスコ無形文化遺産に登録され、住民みんなが伝承することにモチベーションが上がった。今年はユネスコ登録され初めての公開の年になり、例年より大勢の方が見学に来るだろうと思う。国指定から50周年、合併20周年、秋の公開日に伝承会館の建設を宣言されてはどうか。
町長 衣装や道具類は数が多い、さらに出張公演の機会も増えていることから、施設の在り方について寄せられている課題等について、国や県の補助金や交付金制度を精査して検討していく。

農業振興

問

渇水・洪水への
具体的計画と方針は



かわはら しげゆき
川原 茂行
議員

気候変動への対策を

答

広域連携で渇水・洪水対策を総合的に推進する

川原 気候変動により少雨と集中豪雨が常態化する中、極端な気象への対応は急務である。昨年9月の質問を踏まえ、限られた水資源の適切な運用や、洪水時の被害を最小限に抑えるための配分調整について、現時点で町はどのような計画や対応方針を整えているのか。
町長 渇水と洪水という両極端な気象への対応として、町は広域連携とハード・ソフト両面での対策を推進する。渇水時は、本年策定の「渇水対策

マニュアル」により水道企業団と連携を深め、軽トラ対応可能な給水タンクで機動的な給水体制を構築する。洪水時は、国・県と協力した河川整備に加え、ハザードマップ周知と個別避難計画の策定を通じ、全庁挙げて住民の安全確保に努める。



より開かれた議会へ!

作・画 願井 叶



To be continued

#人と自然が輝くまち
Magazine Photo Gallery

木蓮...光につつまれて
(満濃地区/R8年5月) 撮影:石崎議員

すもも...庭先から
(仲南地区/R8年3月) 撮影:新開議員

アマリリス

里山の暮らしのそばに咲く花々
(琴南地区/R8年5月) 撮影:川西議員

フウラン

ムラサキツユクサ

あとがき

委員長 真鍋 泰二郎

春風や闘志いだきて丘に立つ
高浜 虚子

改選を経て、14名の議員が出揃いました。

新人・若手の斬新な視点と、ベテランの豊かな経験を活かし、議会の本分を果たしてまいります。

また、「議会のことから知らない」という声をなくせるよう、議会広報委員会同、「議会だより」の新たな形を模索してまいります。



議会広報特別委員会

- 〈委員長〉 真鍋 泰二郎
- 〈副委員長〉 新開 洸太郎
- 〈委員〉 白川 正樹
- 〈委員〉 石川 米希子
- 〈委員〉 森崎 保彦

皆様のご意見をお聞かせください。mail : gikai@town.manno.lg.jp